

①個別データシート

種類 製品

英名

cotton shirtings, poplin, woven by rapier weaving machine

整理番号:

JP307008

分類 繊維工業品

和名

綿シャツ地,ポプリン(レピア織機)

・GHG排出量

5.39E-01 kg-CO2e/m2

・情報源分類

モデルデータ

・技術記述子

レピア織機による綿生地製織

・技術の内容と機能

サイジング～レピア織機による製織
(原料系)～製織

主要原材料:原料系

主要産出物:綿生地

・情報源

* 目付:96g/m²

・タテ系の畦取り, 経通しおよび織物の検査(検反)は対象外

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“ 製織工程のインベントリデータ構築に関する調査報告書”,(2009),p.38

(社)日本繊維機械学会を通じて機械メーカー数社及び製造現場へのヒアリングを基に工程をモデル化

・データ作成者コメント

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“ 製織工程のインベントリデータ構築に関する調査報告書”,(2009),p.38を基に作成

・適用範囲

先染め綿紡績系のヨコ糸とタテ糸を原料とした、レピア織機によるポプリン(目付:96g/m²)の製造である。データ収集は(社)日本繊維機械学会メンバー中心とした研究委員会によるものである。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、綿紡績系(先染系(タテ系))由来のCO2(化石資源由来)、電力,系統電力(電力)由来のCO2(化石資源由来)、綿紡績系(先染系(ヨコ系))由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開 整理 番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	3.13E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	蒸気	蒸気	JP122001	1.59E-01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	糊(PVA、デンプン)	その他の接着剤		3.38E+00	円	
資源/原材料	中間フロー	入力	先染系(ヨコ系)	綿紡績糸		3.80E-02	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	先染系(タテ系)	綿紡績糸		6.05E-02	kg	仕上げ加工で糊を除くので、糊を含まないポプリン1kgの産出量を機能単位とする。
廃棄物	中間フロー	出力	糸ロス	繊維くず	*	3.00E-03	kg	
廃棄物	中間フロー	出力	糊剤	その他の産業廃棄物	*	8.00E-03	kg	
製品	中間フロー	出力	ポプリン	綿シャツ地,ポプリン,レピア織機	JP307008	1.00E+00	m2	